

緑化だより

No.110 平成27年10月号



ウスムラサキホウキタケ

- 緑化センターの希少な樹木(18)
- 野鳥の世界(ツミ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

10・11月の休園日はありません



生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

緑化センターの希少な樹木

No. 18 シロダモとタマミズキ

シロダモは野山に普通に生える樹木です。やや長い楕円形の葉を見ると、葉脈が基部からすぐの所で3本に分かれて（三行脈）伸びているのが目立ち、同じクスノキ科のクスノキ、ヤブニッケイなどと共通の特徴が見られます。葉の裏が粉を吹いたように白いのが和名の由来で、本種を見分けるポイントです。葉の裏はロウ質におおわれていて、こすると白いロウ質がとれて緑色になります。葉は枝先に集まってつきます。10～11月に、葉のわきに黄褐色の小さな花が付き、赤い果実と同時に見ることができます。昔は種子から採れる油でロウソクを作ったそうです。管理事務所の上の方の東山作業路などで見ることができます。

タマミズキはけっこう珍しい樹木とされていて西日本では点々と自生しています。6月頃、緑白色の目立たない花をつけます。果実は10～11月頃美しい赤色に熟します。緑化センターでは車庫の横に高木が1本ありますが、高い所に実がつくので気づきにくいかもしれません。でも冬には実だけが残っているので目立ちます。和名の由来は果実が美しくミズキに似た樹形であることからつけられたようですが、ミズキ科ではありません。モチノキ科です。葉はサクラに似た形で葉先が短く突き出て尖るのが特徴です。（川上）



シロダモ



タマミズキ

野鳥の世界

ツ ミ

小型のワシ・タカの仲間で、落葉広葉樹林を主な棲家とし、葉の茂った林の中をツバメのようなスピードで行き来します。木々の間を猛スピードで移動する技は超一流で、逃げる小鳥を追いかけ捕捉します。

何年前か前、巣造りから子育てまでを観察したことが一度だけありますが、見る機会はほとんどありません。松林の中、マツの枝を並べただけの、ヒナの産毛が透けて見えるような粗い皿型の巣でし



ツ ミ

た。ヒナが生まれると雌鳥はヒナを抱いて餌を待ち、雄鳥は餌を持ち帰っても巣には近づかず、帰ったことを鳴いて知らせます。鳴き声を聞いた雌鳥は、離れたところで餌を受け取り、巣まで運んで給餌する作業を繰り返していました。餌は、時にはヒヨドリ、キジバトが見られましたが、ホオジロ、カワラヒワ、ヤマガラなど、ほとんどが小型の鳥のようでした。そのため給餌する回数は比較的多く、警戒することも忘れ、ヒナにつき添い、忙しそうに給餌していました。

芸北町の森林は今でも環境が保たれているため、どこかで営巣しているかもしれません。(吉見)

病虫害の話

病虫害の冬ごもり

めっきり涼しくなり、紅葉も始まり、冬に向かう季節になりました。病気や害虫も今までのほど気にならなくなりましたが油断できません。

夏を過ぎたころからイラガ、チャドクガなどの害虫が発生し、その後、成虫は樹幹、葉の裏や土の中に産卵やまゆを作るなどして次の年の準備に入ります。また、うどんこ病などの病気も、雨が続き空中湿度が高いと発生します。

6～9月頃発生したイラガの幼虫は、樹木の幹や枝でまゆを作り越冬し、翌春、まゆから出て活動します。又、2回目に発生したチャドクガの幼虫は9～10月に成虫になり、産んだ卵は卵塊の形で越冬します。

うどんこ病は、活動期が終わると菌糸体は黒い小粒の“子のう核”という種のような形で、落ち葉や冬芽の周りで越冬します。そして翌春、子のう核から胞子を放出し、風にのって広がります。

秋になり落葉した葉を、腐葉土になるからと、樹木の株元に集めていることがありますが、害虫や菌の絶好の隠れ場になります。落ち葉は出来るだけかき集めて処分するのが望ましいのですが、敷く場合は幹から離して敷いて下さい。

腐葉土を作る場合は、穴を掘り、その中に枯葉を集め、米ぬかなどを混入し発酵させます。発酵するときの熱で虫の卵や病原菌は死滅します。その他予防として、落葉後、新芽が出るまでの時期にまゆや卵を見つけ次第捕殺すると、病虫害被害を少なくすることができます。(山根)



イラガの卵



イラガのまゆ(春に幼虫が出たあと。
俗にスズメの小便たごともいう)



チャドクガの卵塊

研修会のご案内

- | | |
|---|--|
| ○ 10月12日(月・祝) 『秋のきのこ教室』
園内で自由にきのこを採集し
名前や食毒を知ろう
※ 採集用のカゴ持参 | 10:00～14:00 第3駐車場 集合
講師：きのこアドバイザー
川上 嘉章 |
| ○ 10月16日(金) 『10月の自然探勝』
秋の木の美食べられる？食べられない？ | 10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師：緑花文化士
横山 直江 |
| ○ 10月22日(木) 『野生きのこ料理教室』
店では売っていない
野生きのこを調理して試食します
※ 要予約(先着25名) 材料費300円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：料理研究家
金本 久子 |
| ○ 10月23日(金) 『庭木の手入れ
(松のもみあげ)』
マツのもみあげの講義と実習 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO法人「樹木医ひろしま」
工藤 徹 |
| ○ 10月31日(土) 『天気予報の世界を
のぞいてみよう』
天気は秘密を知るともっと面白くなります | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：NHK 広島放送局気象キャスター
伊藤 麻衣 |

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

秋のおでかけキャンペーン

10月1日(木)～11月15日(日)

緑化センターと森林公園でスタンプを集めて景品ゲット！

縣市連携統一愛称披露

及び 緑化センター開園35周年記念イベント

11月3日(火・祝)

広島市森林公園をメイン会場、広島県緑化センターをサブ会場に統一愛称披露イベントを行います。
また今年、緑化センター開園35周年になります。
開園記念の楽しいイベントを計画しています。



花めぐりフラワーアレンジ作品

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・花めぐり

フラワーアレンジメント作品展

10月7日(水)～11月15日(日)

(ボード展示)

・きのこ雲の下のきのこ第2回写真展

(被爆70周年に寄せて)

～10月28日(水)



去年の写真展より